

特別会計

保険料や使用料など、特定の収入で実施する事業の運営に必要な経費を扱う財布

会計名	H 29 年度予算額(対前年増減率%)	H 28 年度予算額
国民健康保険事業	47 億 4,315 万 6 千円 (1.2)	46 億 8,856 万 3 千円
後期高齢者医療	4 億 4,935 万 3 千円 (3.4)	4 億 3,448 万 9 千円
介護保険事業	25 億 5,585 万 7 千円 (2.9)	24 億 8,319 万 8 千円
農業集落排水事業	6,173 万円 (△6.0)	6,569 万 1 千円
下水道事業	14 億 6,354 万 2 千円 (9.2)	13 億 3,963 万 6 千円
合計	92 億 7,363 万 8 千円 (2.9)	90 億 1,157 万 7 千円

水道事業会計

地方公営企業法に基づき指定された事業で、独立採算制の経営方式をとっている

会計名	H 29 年度予算額(対前年増減率%)	H 28 年度予算額
収益的収入	8 億 4,433 万円 (△2.7)	8 億 6,794 万 2 千円
収益的支出	7 億 2,487 万円 (△2.0)	7 億 3,969 万円
資本的収入	4,915 万 3 千円 (12.0)	4,389 万 1 千円
資本的支出	3 億 4,272 万 9 千円 (49.8)	2 億 2,879 万 5 千円



ことばの意味

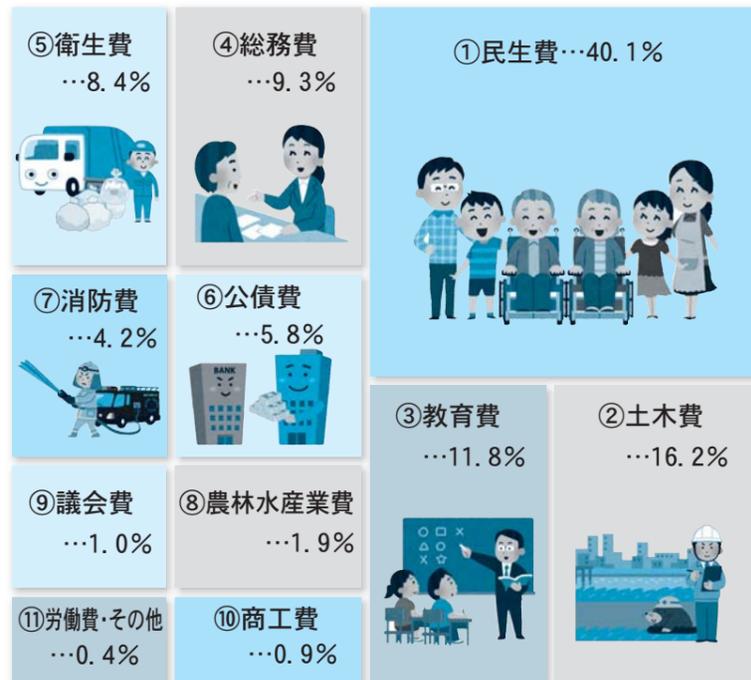
- 一般会計：一般的な行政運営に必要なお金を扱う財布
- 自主財源：町税や施設の使用料、住民票の発行手数料など、町が自主的に収入することができるお金。自主財源が多いほど安定した行政運営ができるとされています
- 依存財源：国や県からの補助金など一定の基準で交付されるもので、町が独自に収入額を決められないお金です
- 町税：町民税や固定資産税など、みなさんに納めていただいた税金です
- 繰入金：基金(町の貯金)から取り崩すお金です
- 使用料及び手数料：施設の使用料や住民票などの発行手数料です
- 分担金及び負担金：福祉事業などに対する負担金です
- 町債：国や銀行などからの借入金です
- 地方交付税：地方公共団体の収支不足を是正するために国から交付されるお金です

平成28年10月6日に示された予算編成方針に基づき、平成29年度予算が成立しました。
 一般会計の予算額は前年度と比較すると2.6%の増(+3億2,000万円)となりました。
 財政状況は引き続き厳しい状況ではありますが、「ハードの安全・安心」施策として、知多武豊駅東土地区画整理事業や屋内温水プール建設事業、保育園施設(認定こども園)整備事業など、将来を見据えたまちづくりを進めていきます。
 また、「ハート(心)の安全・安心」施策では、防災マップ・防災ガイドブックを活用した全小学校への防災教育の展開のほか、体験型防災イベントの実施、愛知県との合同津波地震防災訓練を実施します。そのほか具体的な施策については9ページにまとめてありますのでご覧ください。

歳出 128 億 4,800 万円

- ①民生費 51 億 4,586 万 8 千円
- ②土木費 20 億 7,386 万 8 千円
- ③教育費 15 億 1,720 万 7 千円
- ④総務費 11 億 9,552 万 5 千円
- ⑤衛生費 10 億 7,389 万 2 千円
- ⑥公債費 7 億 4,793 万 3 千円
- ⑦消防費 5 億 4,347 万 5 千円
- ⑧農林水産業費 2 億 4,467 万 7 千円
- ⑨議会費 1 億 3,248 万 3 千円
- ⑩商工費 1 億 1,952 万 2 千円
- ⑪労働費・その他 5,355 万円

予算全体の中で、民生費(子育てや福祉に係る事業)や土木費(道路や公園の整備や維持管理に係る事業)、教育費(学校教育や生涯学習、スポーツ等に係る事業)の占める割合が高くなっているんだね。



私たちの納めた税金の一部が、いろんな事業に使われていくんだ。

歳入 128 億 4,800 万円



まちに入ってくるお金は税金のほかにも、いろんな種類があるんだね。



平成29年度

予算

▶ 問合せ 役場総務課

※()内の数値は、総額に対する割合(構成比)ですが、端数調整等により計算が合わない場合があります

平成29年度の主な事業を紹介します

●：新規事業 ○：継続事業



ともに創るまち

○協働推進事業 246万7千円



地域課題の解決に向けた団体の活動を応援します。また住民自治や協働について、町民と職員がともに学ぶ連続講座を開催します。

安全に暮らせるまち

●県合同津波・地震防災訓練事業 75万9千円



地震や津波などの発災時に町民や各種団体、行政機関が一体となった防災体制を作り上げるため、愛知県と合同で津波・地震防災訓練を行います。

ふれあいのあるまち

●中央公民館施設営繕工事 596万2千円



安全かつ快適な環境整備のため、長年の使用により老朽化した講堂の床面の張替工事を行います。

子どもが健やかに育つまち

●私立認定こども園整備事業 6,540万4千円

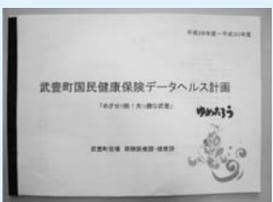


現北中根保育園を建て替え、民設民営による認定こども園を整備します。(平成31年4月開園予定)

※認定こども園・幼稚園と保育園の両方の機能を備えた施設

いきいきと暮らせるまち

●保健衛生普及事業 194万4千円



データヘルス計画に基づき、対象者に生活習慣病重症化予防のための訪問指導や必要な健康情報の提供、適切な受診勧奨等を実施します。

自然環境と生活環境が調和したまち

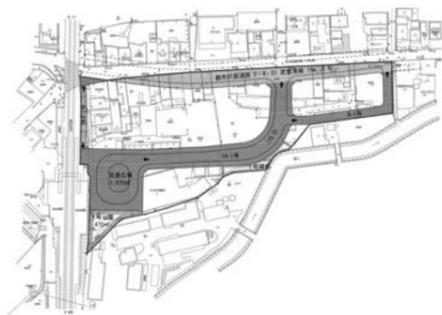
●紙類リサイクル処理事業 518万1千円



10月から、現在「もえるごみ」として出しているレシートやプリント紙などの雑多な紙について、「紙類」として分別します。 ※詳細は14ページ参照

活気に満ち誇りを持てるまち

○知多武豊駅東土地区画整理事業 3億4,922万3千円



町の玄関口として駅周辺の利便性向上と安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するため、名鉄知多武豊駅東地区の土地区画整理事業を進めています。

まちの家計簿



1年間の家計(年収300万円)に例えてみました。

まちの一般会計の予算額を、

収入合計 300万円 / 年

給料(町税など自主財源)	195万7千円
親からの仕送り(国・県補助等)	74万5千円
貯金の取崩し(基金からの繰入金)	19万1千円
借入金(町債)	10万7千円

支出合計 300万円 / 年



食費(人件費)	56万8千円
日用品の購入(物件費)	63万2千円
家族の医療費(扶助費)	47万1千円
家や車の修理費(維持補修費)	2万4千円
家の増改築費(投資的経費)	29万1千円
子どもへの仕送り(他会計への繰出金)	48万1千円
借金の返済(公債費)	17万5千円
自治会費(補助費等)	30万1千円
株券購入費(出資金など)	1万7千円
貯金(積立金)	3万7千円
予備費	3千円

町債の残高等の状況

町債は、主に建設事業に対して借り入れることができる町の長期借入金です。将来にわたって住民に公平に費用負担をしていただくための借入制度です。借入の残高が増えないよう、返済と借入のバランスをとりながら、毎年様々な目的に応じた借入を行っています。

区分	H 28 年度末 現在高見込額	H 29 年度 起債見込額	H 29 年度 元金償還見込額	H 29 年度末 現在高見込額
一般会計	64 億 9,082 万 1 千円	4 億 5,820 万円	6 億 9,952 万 4 千円	62 億 4,949 万 8 千円
農業集落排水事業	2 億 1,711 万 8 千円		2,289 万 7 千円	1 億 9,422 万 1 千円
下水道事業	73 億 1,430 万 3 千円	3 億 660 万円	6 億 5,382 万 2 千円	69 億 6,708 万 2 千円
水道事業	2 億 3,918 万 1 千円		2,990 万 8 千円	2 億 927 万 3 千円
合計	142 億 6,142 万円	7 億 6,480 万円	14 億 615 万 1 千円	136 億 2,149 万 5 千円

財政調整基金 (町の貯金)残高の状況

財政調整基金は、地方公共団体の貯金にあたります。積立や取崩しをしながら財源を調整し、計画的な財政運営を行っていくための資金になります。

区分	H 27 年度末 現在高	H 28 年度末 現在高(見込み)	H 29 年度末 現在高(見込み)
財政調整基金	19 億 278 万 1 千円	16 億 9,704 万 2 千円	8 億 7,875 万円

行政は町債の発行や基金の運用もしながら、まちづくりを進めているんだね。

